



日本精神分析協会
精神分析インスティテュート
福岡支部

2026 年度精神分析セミナー募集要項

—第 10 期 3 年次開催のご案内—

*2 年次、3 年次からの受講も可能です。

募集期間：～2026 年 4 月 14 日（火）まで

主催：日本精神分析協会 精神分析インスティテュート福岡支部

第 10 期 3 年次へのご挨拶

精神分析インスティテュート福岡支部委員長

古賀 靖彦

第 10 期の精神分析セミナーも最終年次になります。この年次では、「神経症とその現在」「精神医学と精神分析」「パーソナリティの病理」「症例から学ぶ」などの精神分析の臨床応用を中心に講義が進みます。講義を通して、みなさんの日常臨床活動に対する精神分析的理解が深まることを期待いたします。

なお、本セミナーは、国際精神分析学会（IPA）の基準に則った精神分析家、あるいは、日本精神分析協会（JPS）が独自に認定する精神分析的精神療法家になるための訓練コースに志願する場合に受講すべき「基礎セミナー」です。また、日本精神分析学会認定研修グループ、および、日本臨床心理士資格認定協会承認研修会でもあります。

2026年度 精神分析セミナープログラム一覧

	テーマ	日にち	時間	内容	講師
1	神経症とその現在	2026年 5月16日（土）	15:00~17:15	神経症論	古賀 靖彦
			17:30~20:00	トラウマ	鈴木 智美
		5月17日（日）	09:30~12:00	解離性障害	岡野 憲一郎
			12:00~12:30	総括	古賀 靖彦
2	精神医学と精神分析	7月18日（土）	15:00~17:15	感情障害・気分障害	原田 康平
			17:30~20:00	統合失調症	松木 邦裕
		7月19日（日）	09:30~12:00	心身症・摂食障害	鈴木 智美
			12:00~12:30	総括	鈴木 智美
3	パーソナリティの病理	9月19日（土）	15:00~17:15	メタ心理学・臨床対応	松木 邦裕
			17:30~20:00	抑うつ	衛藤 暢明
		9月20日（日）	09:30~12:00	ナルシシズム	池田 晓史
			12:00~12:30	総括	松木 邦裕
4	治療機序論	11月21日（土）	15:00~17:15	アセスメント	鈴木 智美
			17:30~20:00	治療機序	原田 康平
		11月22日（日）	09:30~12:00	治療過程	古賀 靖彦
			12:00~12:30	総括	鈴木 智美
5	症例から学ぶ	2027年 1月16日（土）	15:00~17:15	精神分析と精神分析的心理 / 精神療法、および訓練	古賀 靖彦
			17:30~20:00	精神分析症例	岡村 齊恵
		1月17日（日）	09:30~12:00	精神分析的心理/精神療法症例	日下 紀子
			12:00~12:30	総括	古賀 靖彦
6	精神分析の応用	3月20日（土）	15:00~17:15	心理臨床	須藤 将司
			17:30~20:00	精神科臨床	松木 邦裕
		3月21日（日）	09:30~12:00	自殺関連	衛藤 暢明
			12:00~12:30	総括	松木 邦裕

2026年5月16日（土）.17日（日）

第1回「神経症とその現在」 古賀靖彦（コーディネーター）

精神分析は神経症の治療から始まりました。ここではヒステリーをはじめ、各種の神経症を取り上げ、その精神分析的な病理と治療について概観します。さらに、トラウマ、解離性障害といった今日的な課題についても学びます。

5月16日（土）15:00～

1. 神経症論

古賀靖彦（赤坂精神分析オフィス）

◆小項目

- I) 各種の神経症について
- II) 神経症と DSM-5 および ICD-10

◆参考文献

- 1) 岩崎徹也（2011）：精神分析学から見た操作的診断の功罪. 特集 DSM 診断体系の功罪
精神療法 Vol.37 No.5. 金剛出版
- 2) Freud, S (1916-7) : 精神分析入門講義. フロイト全集 15. 岩波全集
- 3) 高橋三郎ら監訳 (2014) : DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き. 医学書院
- 4) 古賀靖彦編集代表 (2021) : 現代精神分析基礎講座第 5 卷. 金剛出版

5月16日（土）17:30～

2. トラウマ

鈴木智美（精神分析キャビネ）

◆小項目

- I) 「トラウマ」とは
- II) 精神分析的理解
- III) 精神分析的面接の方向性

◆参考文献

- 1) トラウマの精神分析的アプローチ 松木邦裕（編） 金剛出版
- 2) トラウマを理解する キャロライン・ガーランド（編） 松木邦裕監訳 岩崎学術出版社
- 3) 埋葬と亡靈 森茂樹（編） 人文書院

5月17日（日）9:30～

3.解離性障害

岡野憲一郎（本郷の森診療所／京都大学）

◆小項目

- I) 解離の概念と解離性障害
- II) 精神分析における解離の概念とその変遷
- III) 解離性障害の力動的な臨床

◆参考文献

- 1) 岡野著 解離性障害と他者性 岩崎学術出版社 2022
- 2) 岡野他著 もっと知りたい解離性障害 星和書店 2022

2026年7月18日（土）.19日（日）

第2回「精神医学と精神分析」

鈴木智美（コーディネーター）

精神医学の臨床において、病理理解とともに病んでいるその人を診る視点として、精神分析的な理解と、その実践についても触れる時間にしたいと思います。

7月18日（土）15:00～

1.感情障害・気分障害

原田康平（福岡大学）

◆小項目

- I) 抑うつ状態の診立ての変遷 / 混乱
- II) 抑うつ状態を呈する各種病態の診立ての必要性
- III) 内因性うつ病、躁うつ病の精神分析的理解
- IV) 事例提示

◆参考文献

- 1) 古賀靖彦編『現代精神分析基礎講座 第5巻 治療論と疾病論』
金剛出版 「第9講 感情障害」（松木邦裕）
- 2) G.O.ギャバード著『精神力動的精神医学 第5版』
岩崎学術出版「第8章 感情障害」
- 3) 松木邦裕・賀来博光編『抑うつの精神分析的アプローチ』
金剛出版 「総論」（松木邦裕）

7月18日（土）17:30～

2.統合失調症

松木邦裕（京都大学名誉教授）

◆小項目

- I) 病像とメタ心理学
- II) フロイトと自我心理学の理解
- III) クラインとクライニアンの理解
- IV) ビオンの理解
- V) それらの理解をどう臨床に生かすか

◆参考文献

- 1) 松木・東中園編 精神病の精神分析的アプローチ 金剛出版
- 2) ローゼンフェルド 松木・小波藏監訳 精神病状態 岩崎学術出版社

7月19日（日）9:30～

3.心身症・摂食障害

鈴木智美（精神分析キャビネ）

◆小項目

- I) 心身症とは
- II) 摂食障害の分析的病理理解
- III) 治療過程

◆参考文献

- 1) 松木邦裕 「摂食障害というこころ」 新曜社
- 2) 古賀靖彦代表編：「現代精神分析基礎講座 vol5 治療論と疾病論」 金剛出版

2026年9月19日（土）.20日（日）

第3回「パーソナリティの病理」 松木邦裕（コーディネーター）

精神分析の治療ターゲットは、パーソナリティにあります。際立ったパーソナリティの機能不全を「パーソナリティ障害」として取り上げますが、それに限らず、症状や病理からパーソナリティ病理を見ていきます。

9月19日（土）15:00～

1.メタ心理学・臨床対応

松木邦裕（京都大学名誉教授）

◆小項目

- I) パーソナリティ障害の分類と病態
- II) そのメタ心理学
- III) 臨床対応

◆参考文献

- 1) 松木・福井編 パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ

9月19日（土）17:30～

2.抑うつ

衛藤暢明（福岡大学医学部精神医学教室 講師）

◆小項目

- I) パーソナリティ症をどうみるか
- II) 臨床で出会うさまざまな抑うつ
- III) マネージメントと精神分析的（力動的）アプローチ

◆参考文献

- 1) G.O.ギャバード（著）、奥寺崇、権成鉉、白波瀬丈一郎、池田暁史（監訳）
精神力動的精神医学 第5版 その臨床実践（2019）岩崎学術出版社
- 2) ナンシー・マックウィリアムズ（著）、成田義弘（監訳）、神谷栄治、北村婦美（訳）
パーソナリティ障害の診断と治療（2005）創元社
- 3) W.R.ビオン（著）、松木邦裕（監訳）、中川慎一郎（訳）
精神病パーソナリティの非精神病パーソナリティからの識別
- 4) 加藤敏：パーソナリティ症および関連特性群—正常なパーソナリティ機能とパーソナリティ
症、パーソナリティ特性. 精神経誌 第124巻 第4号

9月20日（日）9:30～

3.ナルシシズム

池田暁史（大正大学教授／個人開業）

◆小項目

- I) 概念の歴史
- II) 対象関係論的視点
- III) パーソナリティの病理

IV) 開放／閉鎖システム

◆参考文献

- 1) ギャバード, GO 池田暁史訳 ナルシシズムとその不満 岩崎学術出版社
 - 2) 猪野力八郎 ナルシシズムの病理と治療技法 In, 重症人格障害の臨床研究 金剛出版
-

2026年11月21日（土）.22日（日）

第4回「治療機序論」 鈴木智美（コーディネーター）

精神分析の実践における患者との出会いの在り方、分析的なアプローチで展開していくプロセス、そこから患者と治療者双方に何がもたらされるのかについてみていきます。

11月21日（土）15:00～

1.アセスメント

鈴木智美（精神分析キャビネ）

◆小項目

- I) アセスメントのはじめ
- II) 何を知るのか
- III) 心理的資質
- IV) アセスメントから治療契約まで

◆参考文献

- 1) フロイト著. 治療の開始のために フロイト全集13 岩波書店
- 2) グレン・O・ギャバード著. 猪野力八郎監訳.精神力動的精神療法. 岩崎学術出版社
- 3) 馬場禮子著. 精神分析的心理療法の実践. 岩崎学術出版社
- 4) 古賀靖彦代表編：「現代精神分析基礎講座 vol5 治療論と疾病論」金剛出版

11月21日（土）17:30～

2.治療機序

原田康平（福岡大学）

◆小項目

- I) 治療目標
- II) その治療機序
- III) さまざまな心的変化のモデル

◆参考文献

- 1) 古賀靖彦編『現代精神分析基礎講座 第5巻 治療論と疾病論』
金剛出版 「第2講 治療機序」（藤山直樹）
- 2) 小此木啓吾編『精神分析の治療機序（精神分析セミナーⅡ）』岩崎学術出版

11月22日（日）9:30～

3.治療過程

古賀靖彦（赤坂精神分析オフィス）

◆小項目

- I) フロイトのモデル
- II) メルツァーのモデル
- III) ジョゼフのモデル
- IV) ブリトンのモデル

◆参考文献

- 1) S・フロイト（1914）想起すること、反復すること、ワーカスルーすること。
フロイト技法論集 岩崎学術出版社 2014
- 2) D・メルツァー（1967）精神分析過程 金剛出版 2010
- 3) B・ジョセフ（1986）心的変化と精神分析過程. こころの変化と心的平衡
岩崎学術出版社 2005
- 4) R・ブリトン（1998）抑うつポジションの前と後：Ps(n)→D(n)→Ps(n+1). 信念と想像 金剛出版 2002

2027年1月16日（土）.17日（日）

第5回「症例から学ぶ」 古賀靖彦（コーディネーター）

さまざまな理論や技法論から学ばれた多くのことは、臨床に生かされ、経験によって確かめられなければなりません。今回は、精神分析と精神分析的心理/精神療法それぞれの症例から学ぶことを中心に、これらの対比における異同についても学びます。また、精神分析家あるいは精神療法家になるための訓練についても概説します。

1月16日（土）15:00～

1.精神分析と精神分析的心理/精神療法、および訓練

古賀靖彦（赤坂精神分析オフィス）

◆小項目

- I) 精神分析の標準的な基準
- II) 精神分析と精神分析的心理/精神療法の区別の問題
- III) 精神分析家あるいは精神療法家になるための訓練

◆参考文献

- 1) Freud, S. (1919) :精神療法の道. フロイト全集 16. 岩波書店
- 2) Sandler, J. (1988) : Psychoanalysis and Psychoanalytic Psychotherapy: Problems of Differentiation. *British Journal of Psychotherapy*, 5:172-177
- 3) 日本精神分析協会のホームページの「訓練コースのご案内」
<https://www.jpas.jp/training.html>

1月16日（土）17:30～

2.精神分析症例

岡村斉恵（初石病院・個人開業）

◆小項目

- I) 臨床実践における患者の聞き方を示す
- II) 治療者の理解と介入のそれぞれの過程について検討する

◆参考文献

- 1) 松木邦裕 (2015): 耳の傾け方—こころの臨床家を目指す人たちへ.
岩崎学術出版社, 東京.
- 2) 松木邦裕(2024): 転移覚書 —こころの未飽和と精神分析. 岩崎学術出版社, 東京.
- 3) D.W.ウィニコット (著), 橋本 雅雄 (翻訳), 大矢 泰士 (翻訳) (2015)
遊ぶことと現実. 岩崎学術出版社, 東京. 『第2章 夢を見ること, 空想すること, 生きること——一次的解離を記述するケース・ヒストリー』. Winnicott D.W. (1971). *Dreaming, fantasizing, and living: A case history describing a primary dissociation*. In *Playing and Reality*. New York: Basic Books, pp. 26-37.

1月17日（土）9:30～

3. 精神分析的心理/精神療法症例 日下紀子（ノートルダム清心女子大学）

◆小項目

- I) 週1回精神分析的心理療法の事例
- II) 治療構造が治療プロセスに与える影響
- III) 精神分析的心理療法における転移・逆転移との格闘

◆参考文献

- 1) 北山修監修 高野晶編 週一回サイコセラピー序説 精神分析からの贈り物 創元社 2017
 - 2) 高野晶・山崎孝明編著 週1回サイコセラピー実践から考える一 遠見書房 2024
 - 3) 松木邦裕 こころに出会うー臨床精神分析：その学びとまなび方 創元社 2016
 - 4) ヴィック・セドラック著 乾吉佑監訳 心理療法家の情緒的成熟
—逆転移に含まれた超自我、自我理想、盲点を考える 創元社 2022
 - 5) ニナ・コルタート著 館直彦監訳 精神療法家として生き残ること
精神分析的精神療法の実践 岩崎学術出版社 2007
-

2027年3月20日（土）.21日（日）

第6回「精神分析の応用」 松木邦裕（コーディネーター）

精神分析はその治療実践を柱としていますが、100年を越える歴史を通してさまざまな実践の場でのその応用も重要です。今回は心理臨床や精神科臨床での応用、そして企図や既遂の自殺行動にも焦点を当てます。

3月20日（土）15:00～

1.心理臨床

須藤将司(社会福祉法人 麦の子会)

◆小項目

- I) スクールカウンセリングに精神分析は役に立つか？
- II) スクールカウンセリングにおける事例
- III) 過ちから学ぶ
- IV) 施設でのコンサルテーションの事例
- V) 14年振りに施設に戻って反省したこと

◆参考文献

- 1) ザルツバーガー・ウイッテンバーグ著：「学校現場に生かす精神分析」
岩崎学術出版社
- 2) ビディ・ヨーエル著：「学校現場に生かす精神分析」（実践編）岩崎学術出版社
- 3) ジョン・ツイアンティスら著：「子どもと青年の親とのワーク」金剛出版

3月20日（土）17:30～

2.精神科臨床

松木邦裕(京都大学名誉教授)

◆小項目

- I) 精神科臨床と精神分析の異同
- II) 精神科臨床での精神分析の使用
- III) 何ができるのか

◆参考文献

なし

3月21日（日）9:30～

3.自殺関連

衛藤暢明（福岡大学医学部精神医学教室 講師）

◆小項目

- I) 自殺関連行動と自殺の現状・自殺対策
- II) 精神分析からみた自殺と自傷
- III) 自死遺族・自死遺児
- IV) 遺された治療者

◆参考文献

- 1) 衛藤ほか：総合病院精神科外来での自殺予防. 精神経誌 (2019) 121巻 11号
- 2) 衛藤暢明：救急医療で出会う自殺企図者とその家族の精神療法. 精神経誌
(2025) 127巻 10号
- 3) スティーブン・ブリッグス, アレッサン德拉・レマ, ウィリアム・クラウチ（編）
高野晶（訳）：自殺と自傷 岩崎学術出版社 (2025)

■受講申込みについて

受講資格

2026年3月時点で、医療、心理、社会福祉、教育などの専門の資格を1年以上持ち、あるいは専門職に1年以上就き、守秘義務を果たすことができる人。

申し込み締め切り

2026年4月14日（火）

申し込み方法

当方HP (<http://ip-fukuoka.org>) のGoogleフォームに必要事項を記載ください。入力した内容は返送されます。ご確認の上、保存をお願いします。

- * 申込書の記載内容に不備がある場合や、参加資格を満たさない場合は、受講をお断りする場合があります。
- * 講義の性質上、アーカイブ配信は行なっておりません。今後も配信の予定はありません。予めご了承の上お申し込みください。
- * outlook,hotmail以外のアドレスでお申し込みください。過去メール不達トラブルが頻発しました。
- * 必ず fukuokabranch@jpas.jp からのメールを受け取れるようにしてください。なお、具体的な設定方法については、各自プロバイダにお問い合わせください。
- * 対面とオンラインのハイブリット方式で開催いたします。1回でも対面受講をする予定があれば、「対面受講」でお申し込みください。対面受講者は先着50名です。先着50名に漏れた方は、事務局からオンライン受講へ変更のお願いをさせていただきます。
- * お申し込み後、1週間程度経っても事務局からの連絡がない場合は、お手数ですが再度お問い合わせください。

受講費用

60,000円（通年の受講費）

- * Googleフォームの入力内容を確認（新規受講の方は審査をいたします。）後、事務局より振り込み依頼をお送りします。受講費用の振込確認後申し込み完了とします。
- * 振込明細を領収証とさせていただきますが、所属機関等に領収証提出の必要があれば、お申し出ください。
- * 振込者氏名がご本人以外（所属機関等）の場合や、会計年度の都合上2026年4月1日以降の振り込みになる場合は、事務局にご一報ください。

■受講に際してのお知らせとお願い

- ・申し込みが完了（Google フォームの入力と入金完了）したら、特に事務局からの発信はありません。事務局からの連絡は初回講義の 10 日～1 週間前の 2026 年 5 月 10 日前後を予定しています。
- ・お電話での問い合わせは行なっておりません。ゆとりを持ってお問い合わせください。
- ・セミナーの直前は、必ず当方 HP をチェックしてください。 <https://ip-fukuoka.org>
 - +自然災害や感染症などによる緊急な変更が生じた場合は、直ちに HP に記載いたします。
- ・毎回の講義開催日の 10 日～1 週間程度前に、zoom の招待状と講義資料を送付し、HP にも進捗状況を記載します。
 - +zoom の招待状は、「対面」「オンライン」の申込形態を問わず、全員にお送りします。
体調不良等ご自身の都合でご活用ください。
 - +「対面」でお申し込みをされた方が体調不良などで「オンライン」に変更しても構いませんが、
その逆はできません。
 - +遅刻、欠席、早退の連絡は必要ありません。
 - +オンライン受講に際して、受講者側の通信トラブル、機材トラブルなどについて当方は関知
しませんので、ご留意ください。また、講義は申し込みをした方のみで視聴し、周囲に音声や
画像が漏れないようにご配慮ください。
 - +受講時の録音、録画、スクリーンショットなどは禁止です。
 - +講義資料を転送したり、SNS や Web 上にアップすることを禁止します。
 - +講義で知り得た個人情報について、口外したり、SNS や Web 上にアップすることを禁止します。
- ・zoom の登録は、必ずお申し込みの名前と同じものを記載ください。
 - +お申し込みのお名前は、通称でも戸籍上のお名前でもどちらでも構いません。
 - +お申し込みのお名前と zoom に登録された名前が異なり、本人確認ができないことがあります。
本人確認ができないければ、セミナー終了時に発行する受講証明証に記載できなくなりますので、
ご注意ください。
- ・お申込みの際の登録情報に変更が生じた場合は、すみやかに事務局までご連絡ください
(住所・氏名・所属先など)。

■精神分析セミナー開催会場 リファレンス駅東ビル



リファレンス駅東ビル貸会議室

〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル7F
TEL 092-432-0058/FAX 092-432-0035



徒步

JR博多駅 筑紫口より約4分
福岡市営地下鉄博多駅 筑紫改札口より4分

筑紫口からアバマンショップの道を直進し、(地下鉄の場合、東6出口を上がって、左方向へ進む)
博多イーステラス(旧スターレーン)を正面に見て左折。
アハホテル&リゾート博多駅東を右折して左側ガラス貼りのビル。

—— 経路

車

都市高速「博多駅東」出口を出てすぐ右折。

橋を渡り、川沿いの道へ右折。

一方通行にご注意ください。(地図参照)

入口案内



申し込み・お問い合わせ先
精神分析インスティテュート福岡支部

812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目19-3
博多駅前ビル708

E-mail fukuokabranch@jpas.jp